



Life with Green Technology

2021年5月期第1四半期 決算説明資料

2020年10月6日

 三協立山株式会社

業績結果

(億円)

	'21年5月期 1Q実績	'20年5月期 1Q実績	前年同期比	
			増減額	%
売上高	663	750	▲ 86	▲11.6%
営業利益	▲ 2	▲ 4	1	-
営業利益率	▲0.4%	▲0.6%		+0.2p
経常利益	1	▲ 5	6	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	▲ 6	▲ 16	10	-

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

✓ 前年同期比 売上高は減収、営業利益は改善

✓ 売上高は 約 86 億円減収 (▲11.6%)

米中貿易摩擦の影響などの通商問題や、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行拡大の影響などにより、全事業で減収

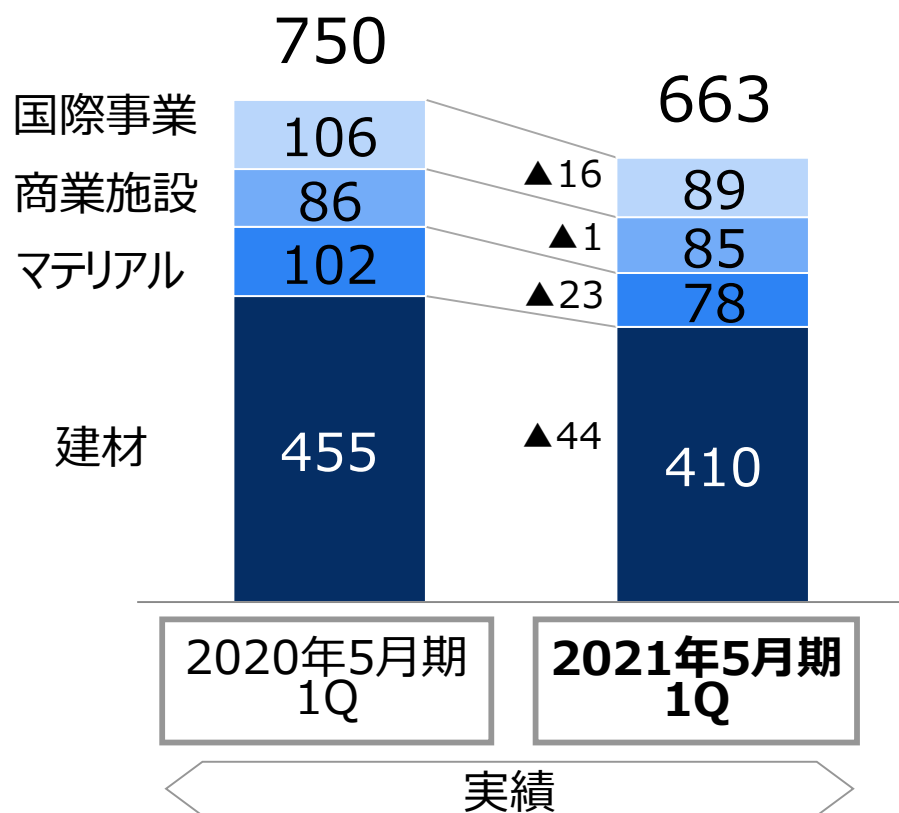
✓ 営業利益は 約 1 億円改善

売上減少の影響があったが、コスト削減や販売管理費抑制などで改善

売上高

663 億円

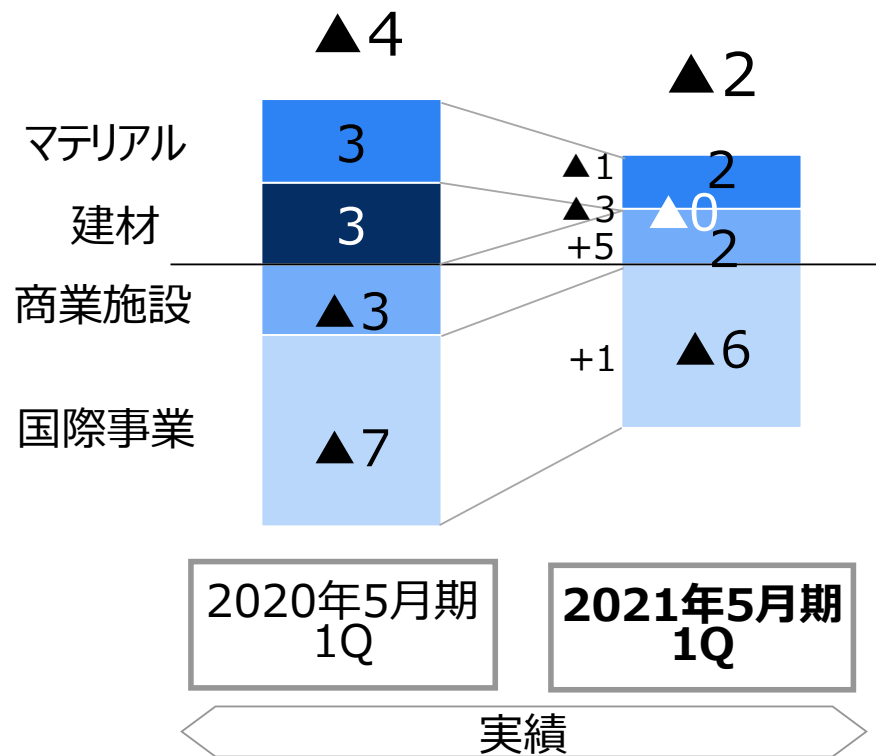
前年同期比 ▲86 億円
(▲11.6%)



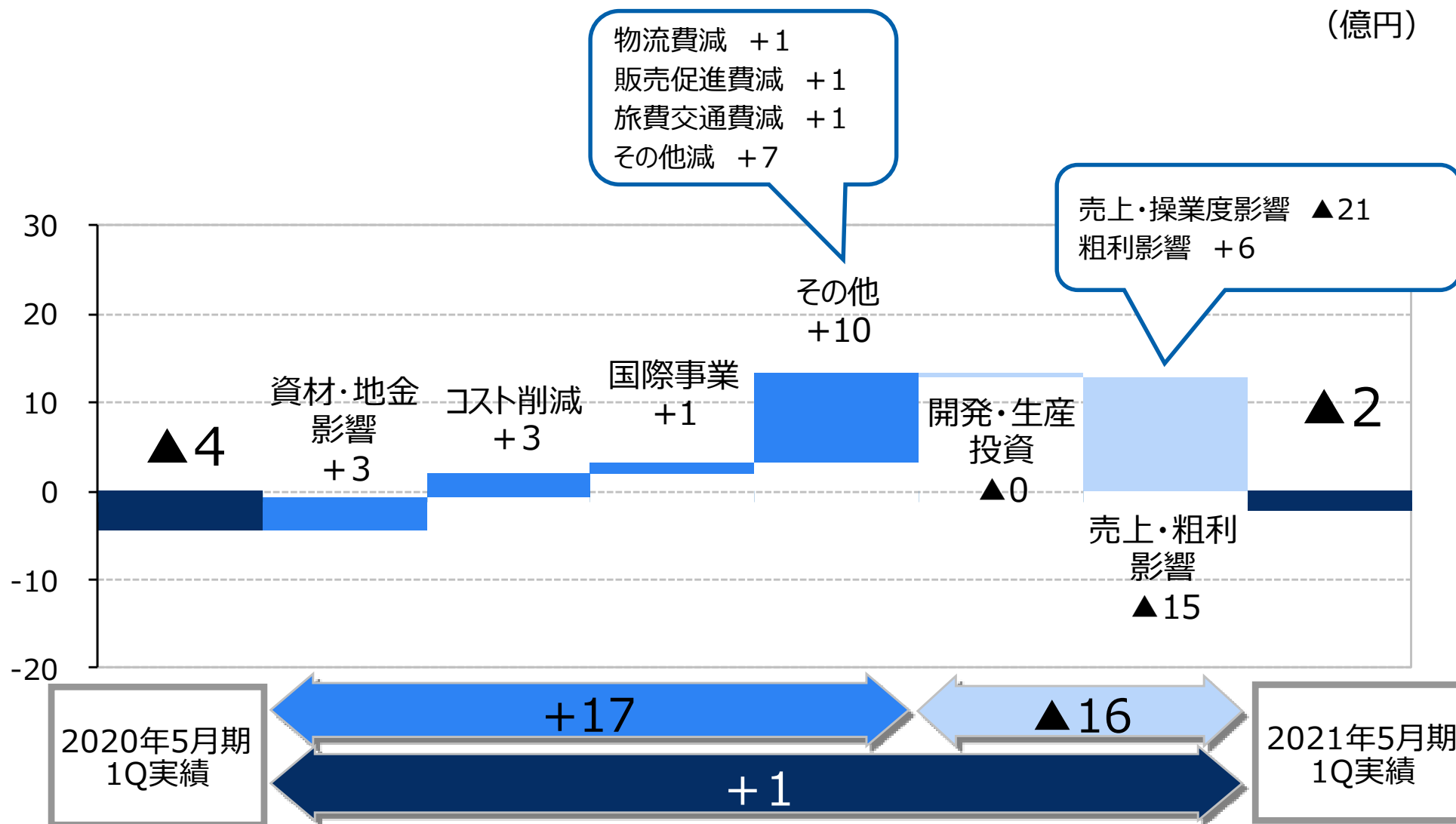
営業利益

▲ 2 億円

前年同期比 +1 億円
(- %)



※金額は億円未満切り捨て表示



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
※金額は億円未満切り捨て表示

2021年5月期 通期計画（予想）

(億円)

業績予想

[上期]

	'21年5月期 2Q計画	'20年5月期 2Q実績	増減額	%
売上高	1,400	1,619	▲219	▲13.6%
営業利益	3	29	▲26	▲89.9%
営業利益率	0.2%	1.8%		▲1.6p
経常利益	-	29	-	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	-	11	-	-

[通期]

	'21年5月期 計画	'20年5月期 実績	増減額	%
売上高	2,890	3,136	▲246	▲7.9%
営業利益	3	20	▲17	▲85.1%
営業利益率	0.1%	0.6%		▲0.5p
経常利益	-	16	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-	▲15	-	-

※金額は億円未満切り捨て表示、率は四捨五入表示

配当

1株当たり、中間は0円とし、期末は未定とします

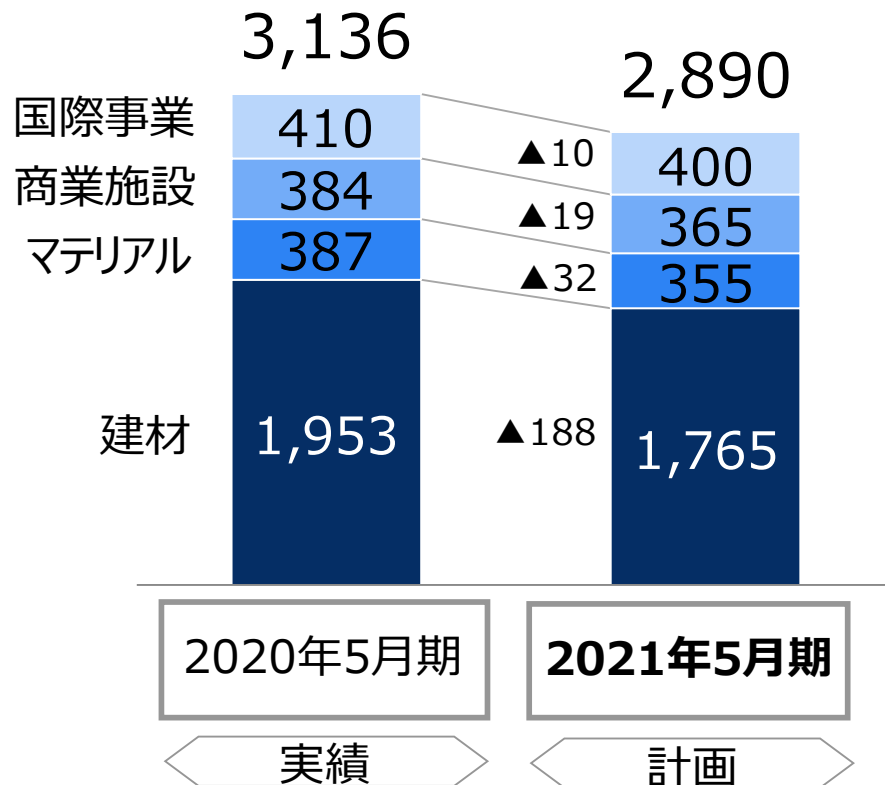
経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の連結業績予想について

現在、各種収益改善策、欧州事業の改革などを推進しており、これらに関連する費用等を含めた、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の連結業績予想は第2四半期決算発表時に公表を予定しております。

また、配当金につきましても、現時点で第2四半期累計期間において前期比で業績低下が見込まれ、当期末の親会社株主に帰属する当期純利益が未公表の段階であるため、中間配当の実施を見送ることとさせていただき、期末配当については未定とさせていただきます。

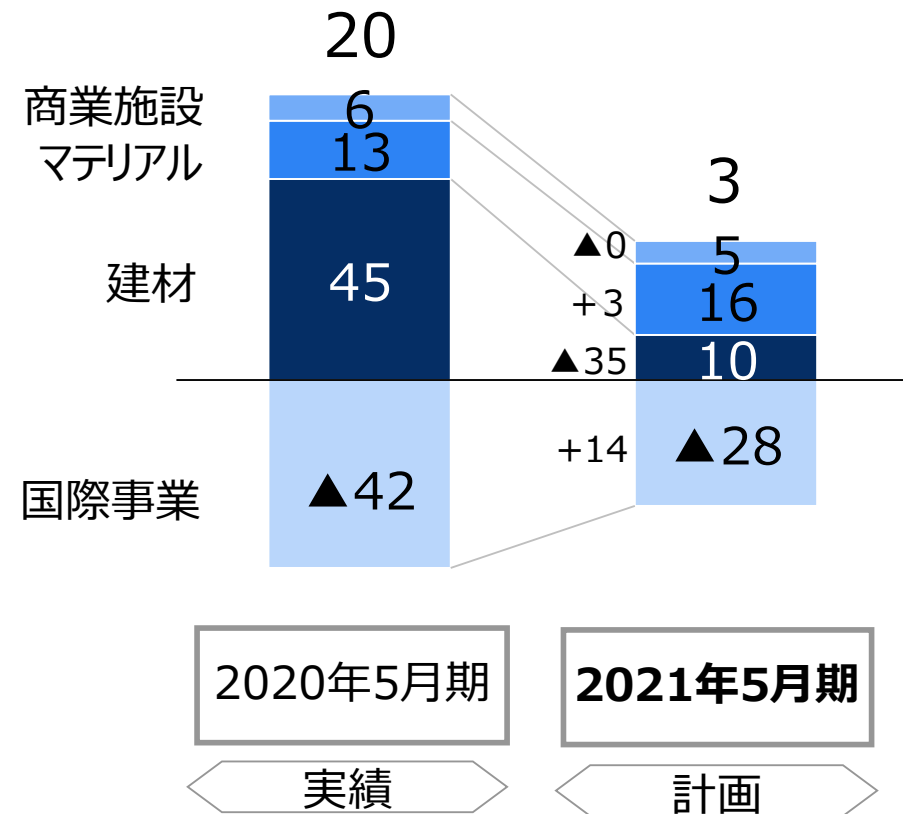
売上高

当期計画 **2,890 億円**
 前期実績 **3,136 億円**
 前期比 **▲246 億円**
 (▲7.9%)

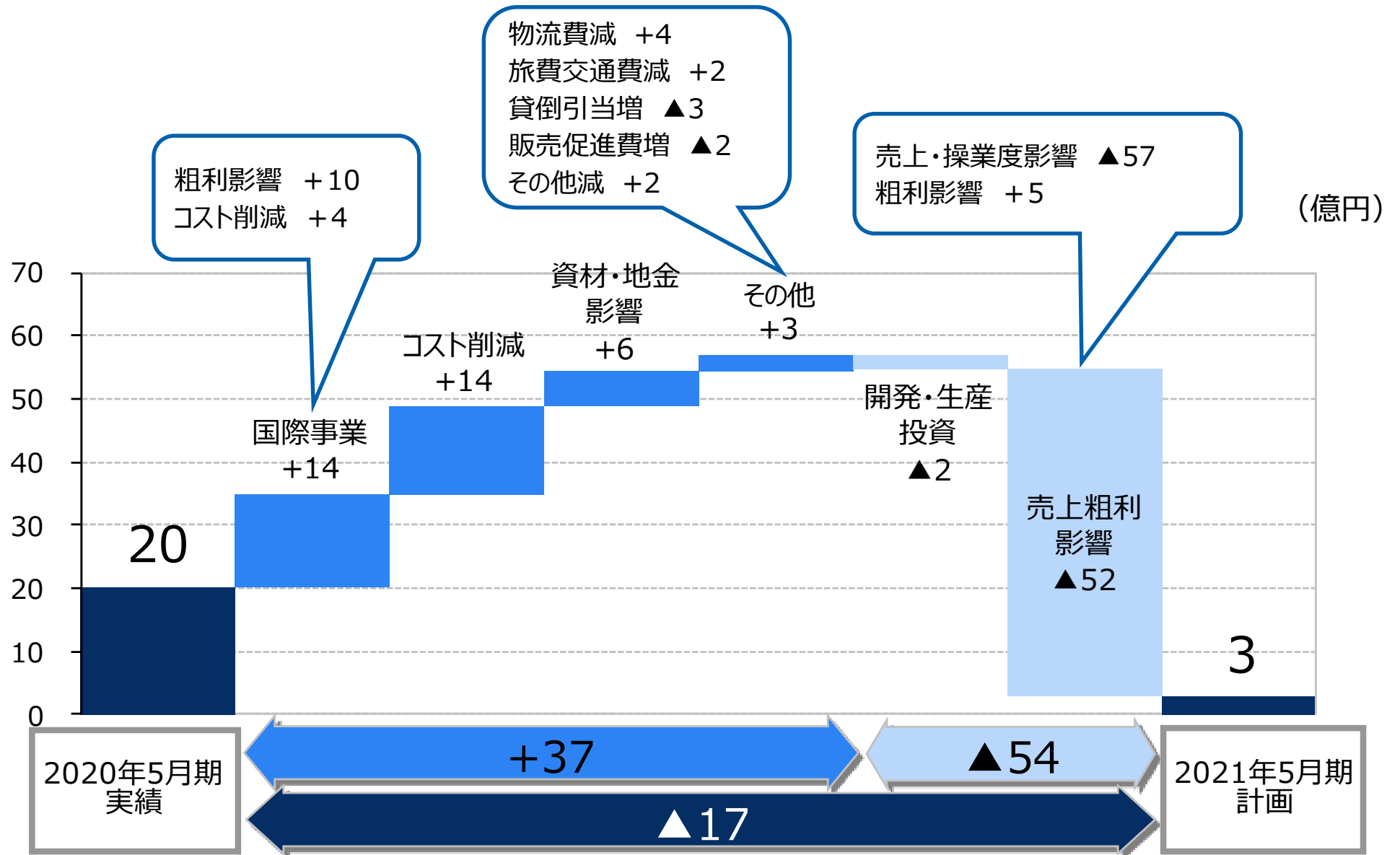


営業利益

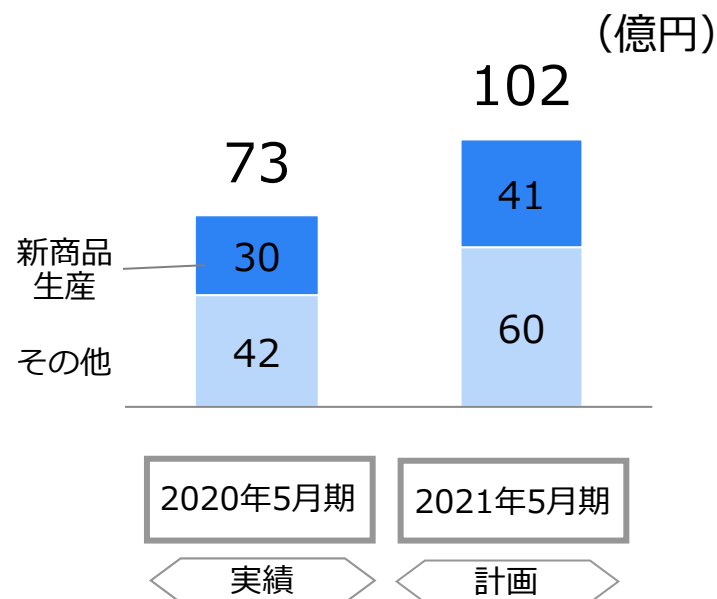
当期計画 **3 億円**
 前期実績 **20 億円**
 前期比 **▲17 億円**
 (▲85.1%)



※金額は億円未満切り捨て表示



※国際事業に係る利益増減については、「国際事業」に集約
 ※金額は億円未満切り捨て表示



・新 生 商 産 品	新商品・合理化	14	21
	修繕など	15	19
そ の 他	ソフトウェア	10	7
	海外子会社	28	46
	その他	3	6
合計		73	102
減価償却費		80	85

※金額は億円未満切捨て表示



植物工場GLOBALG.A.P.認証取得

2020年8月7日付で、レタスを生産している当社の植物工場が、食品安全、労働環境、環境保全に配慮した「持続的な生産活動」を実践する優良企業に与えられる世界基準の農業認証「GLOBALG.A.P.認証」を取得。



■ 工場の概要

対象工場	三協立山 植物工場 「ツインリーフ・グリーン・ファクトリー」 (住所：富山県高岡市北島851)
対象作物	レタス
GGN	4063061440709
製品証明書番号	00087-FFFHN-0002
認証決定日	2020年8月7日



✓ 認証取得の目的

- ・当社の植物工場が持続的な農業生産を可能とし、社会的責任を果たすため。
- ・業務プロセスの安全性への配慮が世界的な基準に則ったものであることを示し、これを永続的に実践するため。

✓ 今後の取り組み

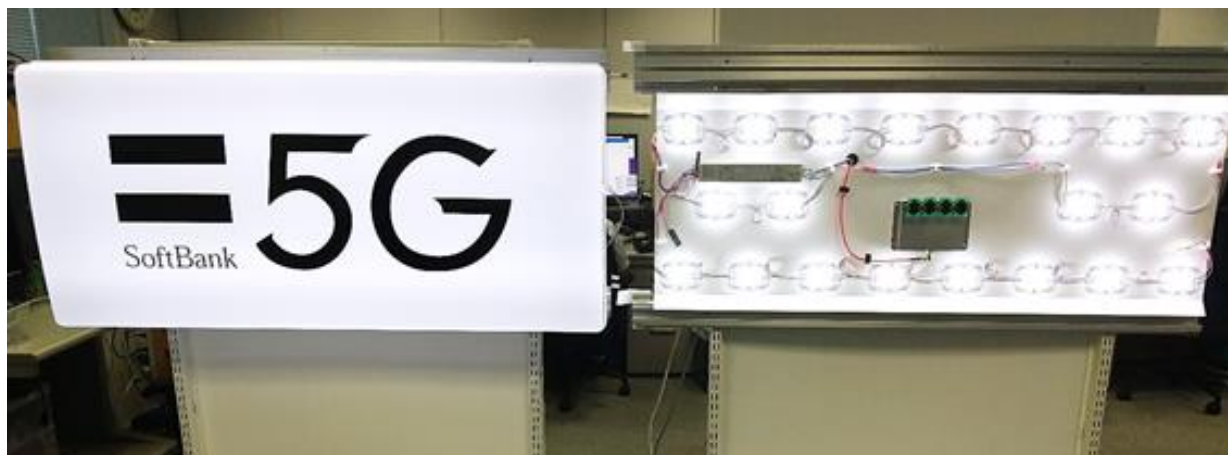
- ・当社のプロセス管理手法を着実に実践し、改善していくことにより、より良い農業生産の姿を具現化していく。
- ・植物工場システム「agri-cube ID」の工場運用に当社のプロセス管理手法を導入することで、GLOBALG.A.P.の普及や、持続的な農業生産の浸透に貢献する。



5G 携帯基地局用“見えない”看板アンテナ開発に成功

（ソフトバンク、三協立山、日本アンテナが共同で開発）

コンビニエンスストア等の商業施設、駅、駐車場などへの活用を想定



- ✓ 設置場所に制限されない
- ✓ 街の景観を損ねない
- ✓ 設置工事および保守が容易

■ 各社の役割

ソフトバンク	“見えない”看板アンテナを用いた5G基地局の運用
三協立山（タテヤマアドバンス社）	看板アセットの提供・活用
日本アンテナ	看板内蔵アンテナの開発・製作

【事業環境指標】

	2020年	2019年	2018年
【建材事業（住宅）指標】 新設住宅着工戸数(4月-6月)	20.4万戸 (12.7%減)	23.4万戸 (4.7%減)	24.5万戸 (2.0%減)
新設住宅着工戸数 [持家](4月-6月)	6.4万戸 (18.2%減)	7.9万戸 (9.6%増)	7.2万戸 (2.5%減)
新設住宅着工戸数 [貸家](4月-6月)	7.6万戸 (12.3%減)	8.6万戸 (14.9%減)	10.1万戸 (3.5%減)
【建材事業（ビル）指標】 非木造建築物着工床面積(4月-6月)	16,973千㎡ (9.9%減)	18,839千㎡ (5.5%減)	19,939千㎡ (5.2%減)
【マテリアル事業指標】 アルミ型材押出重量[サッシ・ドア除く] (6月-8月)	71.7千 t (18.1%減)	87.5千 t (0.3%減)	87.8千 t (2.1%減)
【商業施設事業指標】 建築着工棟数[店舗] (4月-6月)	1,259棟 (31.7%減)	1,843棟 (7.9%減)	2,001棟 (2.2%減)
【国際事業指標】 ドイツ自動車生産台数 (4月-6月)	47.49万台 (61.2%減)	122.54万台 (13.6%減)	141.88万台 (0.9%増)
タイ自動車生産台数 (4月-6月)	15.25万台 (69.8%減)	50.45万台 (2.4%減)	51.69万台 (11.1%増)
【アルミ地金価格】 [日本経済新聞より] (6月-8月平均)	225.0円/kg (7.7%減)	243.9円/kg (18.0%減)	297.6円/kg (9.7%増)

() は前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

410 億円

前年同期比 **▲44 億円**
(**▲9.8%**)

- ・コロナ影響により一部工事の中断、延期
- ・新設住宅着工戸数が減少した影響など

セグメント利益

▲0 億円

前年同期比 **▲3 億円**
(**- %**)

- ・粗利改善施策、販売管理費抑制の推進
- ・売上減少の影響

事業環境

新設住宅着工戸数

全体 **▲12.7%**

持家 **▲18.2%**

出典 国土交通省 建築着工統計調査報告

非木造建築物
着工床面積

▲9.9%

出典 国土交通省 建築着工統計調査報告

ビル用アルミサッシ
販売重量

▲10.5%

出典 経済産業省 生産動態統計

アルミ地金価格
(日本経済新聞)

▲7.7%

※6~8月累計の前年同期比

※比率は4~6月累計の前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

78 億円

前年同期比 ▲23 億円
(▲23.3%)

- ・米中貿易摩擦やコロナ影響による世界経済の停滞を背景としたアルミ型材市場の需要減少
- ・アルミ地金市況に連動する売上の減少など

セグメント利益

2 億円

前年同期比 ▲1 億円
(▲31.6%)

- ・受注量減少の影響

事業環境

国内アルミ型材押出重量
(サッシ・ドアを除く)

▲18.1%

出典 日本アルミニウム協会統計

国内アルミ型材押出重量
(一般機械)

▲18.7%

出典 日本アルミニウム協会統計

※比率は6～8月累計の前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

85 億円

前年同期比 **▲1 億円**
(▲1.5%)

- ・小売業の省人化・省力化投資などの需要獲得
- ・コロナ影響による新店・改装投資の延期や中止など

セグメント利益

2 億円

前年同期比 **+5 億円**
(- %)

- ・業務効率化による販売管理費抑制など

事業環境

建築着工棟数（店舗）

▲31.7%

出典 国土交通省 建築着工統計調査報告

小売業販売額（全体）

▲4.5%

出典 経済産業省 商業動態統計調査

※比率は4~6月累計の前年同期比

※金額は億円未満切り捨て表示

売上高

89 億円

前年同期比 ▲16 億円
(▲16.0%)

- ・コロナ影響により欧州・タイでの自動車販売台数の減少
- ・輸送機器の取引先工場の停止など

セグメント利益

▲6 億円

前年同期比 +1 億円
(- %)

- ・費用抑制などの収益改善

事業環境

自動車生産台数

前年同期比	ドイツ	タイ
(2019年 7-9月)	▲0.6%	▲7.5%
(2019年 10-12月)	▲8.1%	▲21.7%
(2020年 1-3月)	▲19.5%	▲19.2%
(2020年 4-6月)	▲61.2%	▲69.8%

出典 VDA

出典 MARKLINES

GDP (国内総生産)

前年同期比	ユーロ圏	ドイツ	タイ
(2019年 7-9月)	0.3%	0.2%	2.6%
(2019年 10-12月)	0.1%	0.0%	1.6%
(2020年 1-3月)	▲3.8%	▲2.2%	▲1.8%
(2020年 4-6月)	▲11.8%	▲9.7%	▲12.2%

出典 EUROSTAT

出典 NESDC

【 指標実績 】

		期中 平均値	2021年5月期 1Q実績	2020年5月期 1Q実績	2021年5月期 前提（通期）
アルミ地金価格 (日本経済新聞)		6～8月	225.0円/kg	243.9円/kg	236.0円/kg
為替	ドル	6～8月	107.6円	109.9円	110.0円
	ユーロ	4～6月	118.6円	123.5円	123.0円
	バーツ	4～6月	3.4円	3.5円	3.5円
	元	4～6月	15.2円	16.1円	16.0円

※ユーロ・バーツ・元の為替実績は、当社海外子会社の決算期間の平均レート



3密対策・換気

✓ 出入口用網戸 「てまノン網戸」

既存の玄関ドアや引戸に取り付けて風を採り入れる。
約1時間の簡単施工で、快適空間に。



6月発売

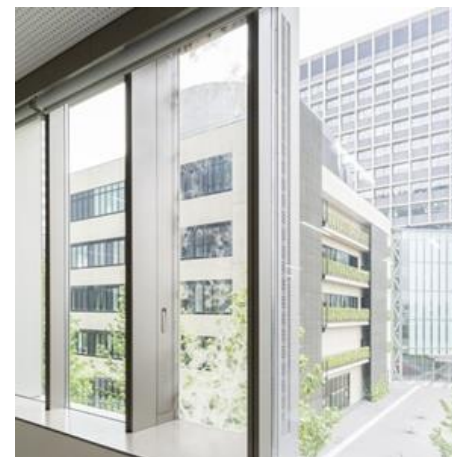
✓ オーニング「ラクシェード」

外部からの日射熱を遮断し、夏場の室内の温度上昇を抑える。
室内からの透視性は確保しつつ、外部からの視線を遮り、プライバシーにも配慮。



4~8月 累計売上
前年比**134%**

✓ バランス式逆流防止窓「スウィンドウ」 ✓ 自然換気システム「ARM-S@NAV」



施設や集合住宅向けの自然換気窓。

風力で自動開閉する「スウィンドウ」(左)。

風力・重力を利用して建物に風を採り入れる「ARM-S@NAV」(右)。



イエナカ生活

- ✓ ガーデンルーム「ハピーナリラ」
- ✓ スクリーンフェンス「エルファード／ベルサード」



4～8月
累計売上
前年比**119%**

日中からナイトシーンまで
快適なリラックス空間を。

適度な目隠し効果で
プライバシー空間を。



4～8月 累計売上
前年比**117%**

- ✓ アルミインテリア建材「AMiS」

在宅でのリモート
空間を確保する
可動パーティション。



飛沫防止・非接触対応

- ✓ 飛沫ガードフェンス



レジ接客時の従業員と
お客様の感染リスク
低減の一環として
食品スーパー
などを中心に導入。

- ✓ 宅配ボックス「フレムス／フレムスLight」

不在時でも在宅中でも
配達員と接触せずに
宅配便を受け取り可能。

4～8月 累計売上
前年比**116%**





✓ ワンダーWEB展示会

全国各地で予定していた新商品展示会が中止になったことを受け、WEB展示会を開催。新商品の紹介に加え、セミナー動画の公開やプレゼントが当たるキャンペーンなどを実施。
（※キャンペーンは2020年10月20日まで）



約3万人が来場



✓ 職人ファースト®

アルミ建材の代表的な商品の施工を動画で紹介。当社製品の施工品質の向上と職人応援を目指した「職人ファースト」に取り組む。





「SDGs：持続可能な開発目標」は全ての人々が豊かで満たされた生活を享受できる世界像を掲げており、当社の経営理念や、CSR活動が目指すものと重なる点が多くあります。私たちの日々の事業活動を通じて、今後もSDGsの達成に貢献します。

～ 三協立山 経営理念 ～

お客様・地域社会・社員の協業のもと、新しい価値を創造し、お客様への喜びと満足の提供を通じて、豊かな暮らしの実現に貢献します。

CSR活動

ESG	SDGs
E 環境	
S 社会	
G ガバナンス	

【本資料に関する注意事項】

本資料に記載されている内容には、三協立山株式会社及び連結子会社（以下、総称して「三協立山グループ」という）の計画、戦略、業績などの将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、現時点での入手可能な情報から得られた三協立山グループの仮定や判断に基づくものであり、これには既知または未知のリスク、不確実性及びその他の要因が内在しています。それらの影響により三協立山グループの実際の業績、事業活動、財務状況は、これらの見通しと大きく異なる場合があります。また、新たな情報、将来の事象、その他にかかわらず、三協立山グループが将来の見通しに関する記述を見直すとは限りません。なお、業績など実際の結果に影響を与えるリスク、不確実性及びその他の要因としては、三協立山グループの事業領域を取り巻く経済情勢、三協立山グループの製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化、為替相場、アルミ地金等の価格変動が挙げられますが、これらに限られるものではありません。

本資料の複製・転載はお断りします。